

都市マスニュース

News of the shimoda city planning

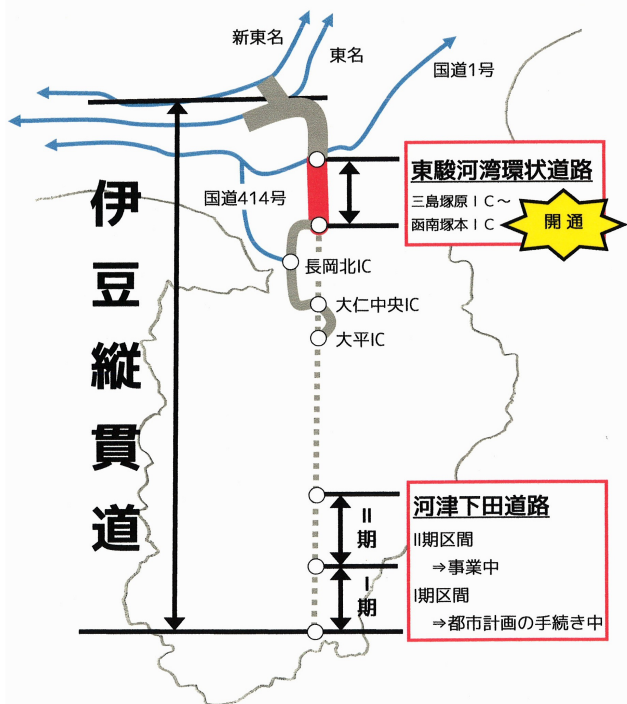
volume
07
2014.2

※都市マス…都市計画マスタープランの略称。将来どんなまちを目指すのか、どんなことに力をいれていくのかといったことを定めた計画。まちの設計図のようなもの。現在、内容の見直し中です。

◆東駿河湾環状道路(三島塚原 IC～函南塚本 IC)が開通しました

平成 26 年 2 月 11 日に、東駿河湾環状道路のうち、三島塚原インターチェンジ(以下 IC)～函南塚本 IC が開通しました。これにより移動時間の短縮や交通渋滞の緩和が期待されます。河津下田道路においても、II 期区間は事業中であり、I 期区間も都市計画の手続きを進めている段階です。

都市マスでは、伊豆縦貫道の利便性を活用した土地利用を検討していきたいと考えています。



◆土地利用の方針(案)

①インターチェンジ周辺

- ・伊豆縦貫道整備で発生する残土を活用した造成を検討し、IC 付近に防災活動の拠点となる場所を確保する
- ・IC 周辺は、耕作放棄地利用の検討を視野に入れ、地域住民や移転者の居住地としての活用、空き家などを活用したサテライトオフィス(※)、防災空地との連携を行う企業等の誘致を図る。その際、地域の生活環境に悪影響の恐れがある場合には、新たな土地利用規制の導入を検討する

※サテライトオフィス……都心部等の本拠から遠隔地に立地した情報通信設備を整えたオフィスのこと。



②沿岸部

- ・武ガ浜の再開発地区計画地区計画（※）は、民間開発により、賑わいに結びつくような空間の形成を図るべく、活用が促進されるよう、計画の変更について検討する

※武ガ浜地区再開発地区計画・・・下田ドック跡地を、海に面した土地という環境を活かし、地域が活性化するような拠点となるように制限・誘導する計画です。

皆さんご存知のように、下田ドック跡地は現在開発が進んでおりません。原因の1つとして、上記計画が現在の社会情勢に合っていないため、計画に沿った整備が難しいことが挙げられます。そのため、賑わいに結びつくような土地利用となるように、計画の変更について検討していきます。



◆次号の都市マスニュース

次号は3月の「かいらん」で配布予定です。

掲載内容（予定）

- ・全体構想について
- ・パブリックコメントの実施
・・・など



◆発行・お問い合わせ先

下田市役所

建設課 都市住宅係

TEL:0558-22-2219

FAX:0558-27-1007

E-mail:kensetsu@city.shimoda.shizuoka.jp

本紙に記載されている情報は、現在見直し中の都市マスの方針の一部を抜粋したものです。詳細については、下田市ホームページにてご覧いただけます。

http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/site/shimoda/html/category/080104Master_plan/index.html

下田市 都市マス 見直し

